

## 令和3年度

### 公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団事業計画

#### I 基本方針

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団は、鎌倉地域の芸術文化の向上と振興、創造的な芸術文化活動の育成支援、国内外の優れた芸術文化の紹介を使命として運営しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染状況の先行きがいまだに不透明であることから、事業への影響が懸念されますが、引き続き当財団に課せられた使命を積極的に果たしていきます。

鎌倉文学館、鏑木清方記念美術館の二つの文化施設の指定管理の着実な運営、さらに市内各所において鎌倉市芸術文化振興財団独自の事業を実施することで、鎌倉独自の伝統文化を継承し、次の世代に伝えていくとともに、市民自らが鎌倉から芸術文化を発信するきっかけと場を創出します。

また本年度は鎌倉文学館第4期指定管理期間の初年度であり、鏑木清方記念美術館とともに、来場者へのさらなるサービスの充実に努めてまいります。

当財団の組織においては、職員のさらなる資質の向上、専門性の強化を引き続き進めるとともに、バランス感覚のある財団運営、安定した財務基盤の改善に向けた取り組みを行います。

そして市民と芸術文化をつなぐための財団の役割について、鎌倉市や市民団体とも連携しながら検討し、歴史文化都市鎌倉にふさわしい芸術文化の向上と振興を目指します。

#### II 事業内容（概要）

##### 1 本部 総務課

##### (1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業及び市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

鎌倉市内すべてを芸術文化活動の場ととらえ、本年度は次のような事業を計画しています。

事業内容	開催予定時期等	場所	備考
音楽鑑賞会	未定	会場要検討	後援形式等
伝統芸能鑑賞会 「第6回鎌倉笑輪会」	8月28日	鎌倉芸術館 小ホール	講談、浪曲、落語、 漫才等の鑑賞会
映画鑑賞会 「第14回鎌倉名画座」	2月予定	学習センター ホール	映画解説とともに
鎌倉俳句&ハイク	通年	市内各所	投句の募集・選考・ 表彰・年間大賞表彰
第16回鎌倉芸術祭の運営	9月～12月	社寺教会	鎌倉芸術祭実行委員会 との連携・協力及び映像 配信等の活用

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

## 2 鎌倉文学館

### (1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

#### ① 展示事業

鎌倉文学館の所蔵品をはじめ、広く鎌倉ゆかりの文学者と文学を紹介するため、常設展と特別展及び収蔵品展を実施します。常設展は鎌倉ゆかりの文学を紹介します。特別展は、春は夏目漱石や太宰治ら作家の文学への想いや親しい人への気持ちをテーマに日記や手紙を紹介、夏は現役の子供文学作家の とよた かずひこさんにご協力いただき、子どもを対象にした展覧会を開催します。秋は来鎌 85 年を記念し、芥川龍之介と鎌倉のゆかりを紹介します。収蔵品展は、鎌倉ゆかりの作家の集めた書や愛蔵品を紹介します。

常設展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
<常設展> 「鎌倉ゆかりの文学」 ※年4回展示替え	4月1日～令和4年3月31日 ※特別展・収蔵品展と同時開催	各特別展 期間と同じ
特集展示 「生誕 120 年 村山知義」	春	
特集展示 「オリンピックと文学者」	夏	
特集展示 「生誕 130 年 久米正雄」	秋	
特集展示 「没後 40 年 小林秀雄」/ 全国文学館協議会共同展示「文学と天災地変」	冬	
ミニ展示「鎌倉を舞台にした作品」 ※年4回展示替え	4月1日～令和4年3月31日	

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 299 日

特別展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
※前年度からの継続事業 <収蔵品展> 「作家 身のまわり その2」	4月1日～4月11日 (開館日数 10 日)	300 円
<特別展> 「作家のきもち」 (仮)	4月17日～7月4日 (開館日数 73 日)	500 円
<特別展>子どもたちへ、未来へシリーズ 10 「とよた かずひこの世界」	7月10日～9月20日 (開館日数 64 日)	500 円
<特別展> 「来鎌 85 年 芥川龍之介と鎌倉」 (仮)	10月3日～12月23日 (開館日数 75 日)	500 円
<収蔵品展> 「作家のコレクション 1」 (仮)	1月4日～令和4年3月31日 (開館日数 77 日)	300 円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 299 日

## (2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鎌倉ゆかりの文学者および文学作品等について情報および資料を収集します。資料に関しては「鎌倉文学館資料整理基準」に基づき、適切な維持管理を行います。鎌倉ゆかりの文学者および文学作品等の調査および研究を行い、調査および研究の成果を図録等の刊行物として作製し市民に公開します。

- ① ゆかりの文学に関する調査研究の業務
- ② ゆかりの文学資料の収集
- ③ 所蔵資料のレプリカの製作
- ④ 図録等の作製及び頒布
- ⑤ 鑑賞動機や意向等のアンケートの実施
- ⑥ 収蔵管理システム
- ⑦ 収蔵資料の点検

## (3) 芸術文化の振興に関する情報収集及び提供事業

鎌倉ゆかりの文学の情報を収集し、ホームページ等で提供します。また、収集した情報と調査研究事業の成果とあわせて、レファレンス業務に反映させていきます。

- ① 鎌倉を舞台にした文学作品の情報収集
- ② 文学に関するレファレンス業務

## (4) 市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

市民が文学について理解を深め、親しみを感じられるよう、より普及事業に力を入れていきます。これまで取り組んできた文学講演会、文学講座、文学散歩などは、内容を充実させます。そして、古典講座、展示解説、資料解説講座、資料調査講座、文学講座「自作を語る」、朗読ワークショップなどを実施します。子ども向けの事業として「子ども参加プログラム」や、「やってみよう文学館のお仕事」を開催。さらに第10回こども文学賞を開催し、全国の小中学生から詩を募集します。

事業名	開催時期等	入館料	参加費	備考
文学講演会	春・秋	—	無料	特別展に関連し、展覧会監修者やご遺族による講演会（館外会場）
文学講座	春・秋	有料	無料	文学について理解を深めるための専門家等による講座
古典講座	6月 2月	有料	無料	要望が多い古典文学の講座を実施
文学講座 「自作を語る」	1回	有料	無料	作家を招き自作を語っていただく講座

事業名	開催時期等	入館料	参加料	備考
朗読ワークショップ	秋	有料	無料	作品への理解を深めた後、プロの指導のもと朗読を学ぶワークショップ
資料解説講座	7月 12月	有料	無料	館収蔵資料について調査研究し、資料の背景や魅力を解説
資料調査講座	春・秋	有料	無料	館収蔵資料について、学芸員の調査を疑似体験する講座
文学散歩	5月 11月 3月	—	無料	文学者、文学作品、文学碑などの文学遺跡を地域ごとに、文学館職員の解説で市内を散策
子ども向けワークショップ	夏	無料	有料 (材料費)	親子や子どもを対象としたワークショップ等を実施
やってみよう文学館のお仕事(子ども向け)	夏	無料	無料	自分だけの小さな展覧会を作る、学芸員体験ワークショップ
本とあそびの部屋	夏	有料	無料	展覧会に関連した本を自由に読めたり工作できる部屋
文学スタンプラリー	秋	有料	無料	文学館をゴールに市内の文学ゆかりの施設をめぐるスタンプラリー
ギャラリートーク(展示解説)	毎週 土日祝日	有料	無料	展示資料や建物について職員が解説
第10回こども文学賞	秋	—	—	小中学生を対象とする詩の募集、選考、表彰
インターンシップ	適宜	—	無料	中学生、高校生に向け職業体験を実施
学芸員実習	8月	—	有料	博物館学芸員資格履修者のための実習
出張講座	適宜	—	—	市民団体や図書館・学校などの依頼により、文学館職員が館外でおこなう文学講座

#### ・他館との連携

春のバラまつり期間中に鎌倉彫資料館と連携し、鎌倉彫でバラを彫るワークショップを開催します。夏の特別展の期間中に神奈川近代文学館、町田市民文学館ことばらんどと連携し、子どもたち向けに「夏の文学館スタンプラリー」を実施します。また、秋に「川端邸庭園公開」を川端康成記念会と共催で開催します。

#### (5) 文化施設の管理運営事業

従来のホームページ、Facebook、Twitter、Instagramを活用し、よりタイムリーな情報発信を図ります。また地域のメディア、施設へ積極的に情報提供を行うなど地域と触れあう地道なPR活動により、知名度の底上げを図ります。広報宣伝活動の一環として、春と秋のバラ園の開花と、クリスマス、バレンタインの時期にあわせてイベントを行うほか、江ノ島電鉄と連携し江ノフェ

ス参加を予定しています。また令和3年開催のオリンピック・パラリンピックに向けて、多言語案内を拡充する予定です。

- ① 鎌倉文学館の利用に関すること
  - ア. 鎌倉文学館の利用の承認等に関する業務
  - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
  - ウ. 鎌倉文学館への来館促進及び広報宣伝に関する業務
  - エ. 施設案内業務
  - オ. 入館者の安全に関する業務
- ② 鎌倉文学館の施設管理に関すること
  - ア. 施設管理運營業務
  - イ. 施設清掃業務
  - ウ. 保安警備業務
  - エ. 庭園維持管理業務
  - オ. 備品管理業務
- ③ 鎌倉文学館の資料に関すること
  - ア. 鎌倉文学館資料の維持管理業務

#### (6) 収益事業

当財団の公益目的事業の推進に資するため、鎌倉文学館オリジナルのミュージアムグッズ販売、一般書籍などの受託販売、他施設への企画提供、飲料自動販売機設置など、収益事業を行います。

### 3 鍋木清方記念美術館

#### (1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

##### ① 展示事業

これまでに蓄積した調査結果と研究成果に基づき、特別展と企画展を実施します。

また令和3年に延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックに際し、清方の視点を通して描いた江戸・東京の発展や文化史的側面に着目した内容の展覧会を企画します。個人所蔵家や他館から作品を借用し開催する特別展では、清方をはじめとする浮世絵系画家の系譜、江戸から昭和の市井生活を描いた作品、清方が描く季節の美などを紹介します。企画展では、清方と小説家・泉鏡花との関わりや、舞台に取材した作品などを近年寄贈となった資料を交えて紹介します。

##### 当館展示事業

展覧会名	開催予定期間等	入場料
※令和2年度からの継続事業 ＜企画展＞ さしえ、華やかなりし頃 —清方が受け継ぐ挿絵の美—	4月1日～4月11日 (開館日数10日) (3月13日から 開館日数26日)	200円
＜特別展＞ 烏合会結成120年記念 若き清方と仲間たち —浮世絵系画家の新時代—	4月15日～5月19日 (開館日数31日)	300円
＜特別展＞ 随筆『こしかたの記』刊行60年記念 清方が愛した江戸、東京。人、暮らし。	5月22日～6月27日 (開館日数31日)	300円
＜企画展＞ 夏色美人 ～清方がみた夏げしき～	7月2日～8月22日 (開館日数45日)	200円
＜企画展＞ 幽玄の美に誘われて ～泉鏡花と清方の出会い～	8月28日～10月19日 (開館日数45日)	200円
＜特別展＞ 秋冬の情趣、清方のことば	10月23日～11月28日 (開館日数31日)	300円
＜企画展＞ 華やぐ 舞台と女性 ～新春 押絵羽子板とともに～	12月2日～令和4年1月10日 (開館日数29日)	200円
＜企画展＞ うつくしきひと。～清方のまなざし～	1月14日～2月27日 (開館日数39日)	200円
＜企画展＞ 春、うらら。～清方の風景とスケッチ～	3月4日～3月31日 (開館日数24日) (4月10日まで 開館日数33日)	200円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数計 285日

## (2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鏑木清方の画業に関する調査研究を行い叢書図録の製作の準備のほか、資料公開の促進や良好に保存するための作品・下絵の修復事業にも力を入れます。また、ホームページ上の全収蔵品目録のデジタルアーカイブ公開に引き続き取り組みます。さらに入場者の鑑賞意向調査を行い、美術館事業にも反映していきます。

- ① 鏑木清方に関する専門的な調査研究
- ② 鏑木清方関係資料の収集
- ③ 鏑木清方の作品・下絵等の修復
- ④ 鏑木清方叢書の製作準備

事業名	内容
叢書 23 「鏑木清方のデザイン」(仮)	清方が描いた少年・少女雑誌の挿絵を中心に、子ども向け書籍・商品や浴衣などの商業デザインの画業を調査します。

(※ 事業名等は変更することがあります)

- ⑤ 子ども向け解説冊子の作成

事業名	内容
色摺り石版画に触れよう！ (仮)	石版画の制作過程について子ども向けに解説した冊子を製作します。

(※ 事業名等は変更することがあります)

- ⑥ 全収蔵品目録ページの作成
- ⑦ 展示鑑賞動機や意向等のアンケートの実施

## (3) 芸術文化の振興に関する情報の収集及び提供事業

鎌倉市鏑木清方記念美術館と鏑木清方の情報を発信します。令和2年度の年報をまとめてホームページ上で公開する他、来館のきっかけを作る事業を行い、より多くの媒体に取り上げられるよう広報宣伝にも力をいれます。

事業名	掲載時期	備考
年報のホームページ上の公開	3月	令和2年度の年報の掲載

事業名	開催時期等	料金等	備考
鎌倉ミュージアムめぐり スタンプラリー	4月～ 12月	入館料	川喜多映画記念館、神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館との連携事業
鎌倉の小さな美術館へ ようこそ！	秋季	入館料から 50円割引	北鎌倉葉祥明美術館との連携事業
清方・蓬春 連携企画	冬季	入館料から 50円割引	山口蓬春記念館との連携事業

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

前記の他、次の事業を行います。

- ① 広報宣伝（ホームページやFacebook、Twitterの活用、案内パンフレット配布）
- ② 企画協力、資料貸し出し協力

#### （４）市民の芸術文化活動の育成及び支援事業

講演会や講座、子ども向けプログラムの開催のほか、学芸員実習生、高校生のインターンシップ、大学院生のインターンの受入れを行い、美術館の業務推進を図るとともに、将来美術館業務に携わる世代の育成支援を行います。

なお、開催時期や実施内容は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、市とも協議しながら状況に応じて変更してまいります。

事業名	開催時期等	入館料	参加料	備考
美術講演会	6月・11月	無料	有料	特別展に関連した講演会
展示解説 (ギャラリートーク)	毎月の第2・第4 土曜日 (団体は随時)	有料	無料	学芸員による展示解説
市民講座	12月	有料	無料	学芸員等による講座タイプの 解説
日本画 ワークショップ	6月・7月・9月・ 10月・12月	有料	有料	一般向けの日本画材を使って 絵を描くワークショップ
日本画制作実演	秋	有料	無料	日本画家による作品制作のデ モンストレーション
子ども参加プログラム ワークショップ	7月・8月・3月	有料	有料	小学生から高校生対象の日本 画材を使って絵を描くワーク ショップ
子ども参加プログラム 親子鑑賞	春休み・夏休み 期間中(4月・ 7月・8月・3月)	無料	無料	小学生・中学生及び同伴者の 観覧料無料、ワークシートの 配布を実施
親子参加プログラム ワークショップ	7月	有料	有料	未就学児童～小学校低学年対 象 親子で美術館を楽しむワーク ショップ(NPOとの連携事業)
紫陽花イベント	6月	有料	有料	鎌倉の紫陽花と清方作品を鑑 賞するプログラム(NPOとの 連携事業)
学芸員実習	8月	—	有料	博物館学芸員実習課程履修者 を対象とした実習
インターンシップ	随時	—	無料	中学生・高校生向け職業体験
インターン (大学生・院生)	随時	—	無料	大学生・大学院生を対象とし た就労体験

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)



#### (5) 文化施設の管理運営事業

鏑木清方記念美術館の施設管理、運営を行います。

- ① 鏑木清方記念美術館の利用に関すること
  - ア. 鏑木清方記念美術館の利用の承認等に関する業務
  - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
  - ウ. 鏑木清方記念美術館への来館促進に関する業務
  - エ. 施設案内業務
  - オ. 入館者の安全に関する業務
- ② 鏑木清方記念美術館の施設管理に関すること
  - ア. 施設管理運営業務
  - イ. 施設清掃業務
  - ウ. 保安警備業務
  - エ. 庭園維持管理業務
  - オ. 備品管理業務
- ③ 鏑木清方作品等に関すること
  - ア. 鏑木美術作品等の維持管理業務

#### (6) 収益事業、その他の事業

その他、来館者サービスの一環として、美術館オリジナルの絵はがき・一筆箋などのミュージアムグッズや叢書を販売します。希望者には通信販売も行います。また、書籍などの受託グッズ販売も併せて行います。